

災害に備える

9月1日は防災の日です。地震や台風への備えは万全か、再点検を兼ねて、もう一度周りを見回してください。

地震・台風への備えは

出来ていますか

大雨に注意

夏から秋にかけては、台風が接近、上陸するためにしばしば大雨が降り、がけ崩れなどの被害がでます。

降雨とがけ崩れの関係は、地域、季節、地質、地形などの状況によって異なりますが、大まかな目安としては、降り始めからの雨量が200ミリを超える、あるいは、1時間雨量が40ミリを超えるような大雨の時にがけ崩れが急増する傾向にあります。もちろんこれ以下だからといって油断は禁物。特にそれまで雨が続いて地盤が緩んでいるような時

は、それほど強い雨でなくともがけ崩れを引き起こすことがあります。

また、比較的小規模ながけ崩れが多発する時刻は強雨のピーク時と一致し、大規模な崩壊はピークを過ぎたところに発生しやすいこと、強い雨が一時おさまり再び強くなった時にがけ崩れが発生しやすいことなどがこれまでのデータから明らかになっています。

台風が接近し、大雨が予想される時は、天気予報番組やニュースをよく聞き、強い雨が降り始めた時、大雨が続いている時にはラジオやテレビをつけてスポットに注意してください。がけ崩れが心配さ



れる地域に住んでいる方は、電話(177)で、その地区に大雨に関する注意報、警報がでないか確かめることも必要です。

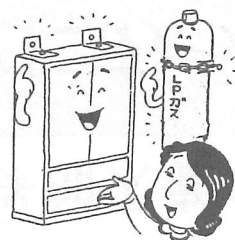
数十年、数百年に一度という豪雨に襲われたら、たいていのところでがけ崩れや山崩れが起こるといわれます。何十年も災害がおこらなかったといって、そこが安全とは限らないことを心に留めておきましょう。

地震対策

室内にいて地震にあった場合、まず転倒してくる家具にぶつかったり、下敷きになる危険があります。震度5以上の大きな地震になると、どのような家具も、一応転倒の危険性があると考えておかねばならないといわれます。

特に、段重ねの家具は段がそれぞれ別個に不安定な動きをして、引き出しが飛び出したり、観音開きの戸が開いて中の物が落ちたりします。

こうした危険性を少なくするポイントのひとつは、家具の配置。できるだけ壁に水平に置く、重いものはなるべく下に収納して重心の位置を低くする、窓ガラスを背にして置かない、家具や棚の上にアルコールやベンジンなどの危険物や重い花瓶、アイロンなどは置かない、などに気をつけてください。



次に、これもぜひ実行したいのが、家具の転倒防止具の取り付け。L字型の固定金具や木ねじなど、いろいろな種類の固定具が市販されていますので、それらを家具に合わせて組み合わせ、固定させてください。その際は、家具を壁にびったり添わせて固定す